

NEWSPAPER  
ADVERTISING  
PRIZE 2009

# 新聞社企画部門

新聞広告賞

奨励賞

新聞社企画部門「新聞広告賞」

新聞社企画部門「奨励賞」





# みやぎ漫画の力

河北新報社 営業本部



## ここに始まったみやぎの漫画

### 石ノ森作品に見るみやぎとは

2006年、生誕70周年・没後10年を迎えた漫画家・石ノ森太郎。たくさん人気漫画を生み出し、「マンガの王様」と称されています。すべての漫画家は、幼いころに遊んだ場所が、漫画の背景になっているといえます。宮城県出身の「マンガの王様」は、ふるさとをどのような思いで見つめていたのでしょうか。石ノ森美術館と石ノ森章太郎ふるさと記念館を訪ねました。

**みやぎ漫画の力**

石ノ森太郎は、宮城県宮城郡大郷町に生まれました。幼少時代は、大郷町の山間部で育ちました。大郷町には、大郷小学校、大郷中学校、大郷高等学校があります。石ノ森太郎は、大郷小学校から大郷高等学校まで、大郷町で育ちました。大郷町には、大郷小学校、大郷中学校、大郷高等学校があります。石ノ森太郎は、大郷小学校から大郷高等学校まで、大郷町で育ちました。

**「漫画宣言」マンガは「萬画」だ!**

1. 漫画とは、鳥獣刀剣——あらゆるものを漫画でも可なりです。
2. 漫画とは、絵巻物。万人の心に語りかけるもの。絵、おもしろいメディアです。
3. 漫画とは、一言句(個々の話)の集合体。その集合体、ひとつひとつ、個性が個性を帯びて、心も奪っていきます。
4. 漫画は商業芸術。Million Art (Million 100万)で、日本一の漫画家を目指して「たけじん」の漫画家を目指す。
5. 「たけじん」は「MA」NGAとも読めます。

**「みやぎ漫画コンテスト」作品募集!**

宮城県在住の漫画家たちが発表・決定します  
「みやぎ漫画の力」では、宮城県在住の漫画家たちが発表・決定します。宮城県在住の漫画家たちが発表・決定します。宮城県在住の漫画家たちが発表・決定します。

## みやぎ生まれの漫画育ち

未来を担う高校生にとっての漫画とは——

「みやぎ生まれの漫画育ち」は、みやぎ生まれの漫画家や漫画愛好家たちが、みやぎの漫画文化を次世代に伝えるための活動です。みやぎ生まれの漫画家や漫画愛好家たちが、みやぎの漫画文化を次世代に伝えるための活動です。

**生活に欠かせない**

**一番庶民的なメディア**

**コミケーション**

**みやぎ漫画コンテスト** 作品募集!

## みやぎ発 世界行き 漫画・アニメが 開く世界

みやぎ発の世界行き漫画・アニメが、開く世界。みやぎ発の世界行き漫画・アニメが、開く世界。

**みやぎ発の世界行き**

**みやぎ発の世界行き**

**みやぎ発の世界行き**

## 漫画・アニメ界をめざす若手クリエイターを養成する学校特集

みやぎ発の世界行き漫画・アニメが、開く世界。みやぎ発の世界行き漫画・アニメが、開く世界。

**みやぎ発の世界行き**

**みやぎ発の世界行き**

**みやぎ発の世界行き**

## 環境保全米

環境保全米。環境保全米。環境保全米。環境保全米。

**環境保全米**

**環境保全米**

**環境保全米**

## 12月&年末年始 70周年 休まず開館!

石ノ森美術館。石ノ森美術館。石ノ森美術館。石ノ森美術館。

**石ノ森美術館**

**石ノ森美術館**

**石ノ森美術館**

## 生誕70周年に贈る、東映テレビ映画70タイトル!!

石ノ森大図鑑!! 石ノ森大図鑑!! 石ノ森大図鑑!! 石ノ森大図鑑!!

**石ノ森大図鑑!!**

**石ノ森大図鑑!!**

**石ノ森大図鑑!!**

## みやぎ漫画の聖地巡礼

みやぎ漫画の聖地巡礼。みやぎ漫画の聖地巡礼。みやぎ漫画の聖地巡礼。みやぎ漫画の聖地巡礼。

**みやぎ漫画の聖地巡礼**

**みやぎ漫画の聖地巡礼**

**みやぎ漫画の聖地巡礼**

## 自転車って 楽しいね。でも 大丈夫?

自転車って 楽しいね。でも 大丈夫? 自転車って 楽しいね。でも 大丈夫? 自転車って 楽しいね。でも 大丈夫?

**自転車って 楽しいね。でも 大丈夫?**

**自転車って 楽しいね。でも 大丈夫?**

**自転車って 楽しいね。でも 大丈夫?**

●広告主——仙台市、JAグループ宮城、石ノ森美術館、石ノ森章太郎ふるさと記念館、東映ビデオ、宮城県自転車軽自動車商業協同組合など19社

●掲載状況——2008年11月29日から09年5月31日まで、全15段×8本を掲載。すべてカラー

●広告活動——連動コンテストを実施。「漫画・アニメフェスティバル」を開催し、ブースに出席

●企画——河北新報社営業本部

●制作——河北新報社営業本部、ユニグラフィック

●企画の概要と選定理由

世界的に有名になった日本の漫画・アニメと宮城県のかかわりを探ることで、地域の活性化を目指したシリーズ企画。石ノ森太郎氏や荒木飛呂彦氏をはじめ、人気漫画家を数多く輩出し、関連施設も多数存在する宮城県の特性を改めてアピール。漫画家へのインタビューや若手育成などのさまざまな活動を紹介した。また、地域の産官学と連携し、幅広い層に関心を与えた。漫画をテーマに地域づくりに結び付けた取り組みは、県内外から大きな反響を得て、若年層に新聞をアピールすることに成功した。

## ハワイイイイイ

ハワイイイイイ。ハワイイイイイ。ハワイイイイイ。ハワイイイイイ。

**ハワイイイイイ**

**ハワイイイイイ**

**ハワイイイイイ**

## 私たちは確かな技術で安全な暮らしを守ります。

私たちは確かな技術で安全な暮らしを守ります。私たちは確かな技術で安全な暮らしを守ります。私たちは確かな技術で安全な暮らしを守ります。

**私たちは確かな技術で安全な暮らしを守ります。**

**私たちは確かな技術で安全な暮らしを守ります。**

**私たちは確かな技術で安全な暮らしを守ります。**

# 空舞う、その日へ。

新潟日報社 広告事業本部

朱鷺から生まれる日本の未来。

佐渡で最後の野生の朱鷺が保護されてから二十七年、朱鷺が新潟の空に舞っています。

朱鷺の野生復帰は、朱鷺の種の保存にとどまらず、人と自然が共生する社会、地球環境への取り組みであり、新潟県内はもちろん、全国へ、世界へ発信する二十一世紀のメッセージでもあります。

地域の取り組み、各地からの応援、中国の友情など、関係者の思いと努力が実り、明日、朱鷺が佐渡の空に、そして日本の空に舞ってきます。

人と自然が共生する瞬間。私たちは朱鷺放鳥から始まる、日本の未来を考えていきます。

Nipponia Nippon

人と自然の共生の一步。

鳥の鳴き声、木の葉のざわめき、空の青さ。朱鷺が自然放鳥されるのを機に、人と自然が共生する社会の実現と地球環境保護を訴えたシリーズ企画。放鳥に向け、県内外の関係者・著名人からのメッセージを掲載し環境の大切さを広く訴えるとともに、放鳥前日には朱鷺の卵を連想させる美しいビジュアルのラッピング広告を展開し、読者の興味を喚起した。新聞社の総合力を駆使し、人と自然が共生する魅力を国内外に発信するなど、社会性を生かした広告展開で新聞広告の力を改めて示した。

NEC POLA JAL

- 広告主—— NEC、新潟日産自動車、日本航空、ポーラ、UX新潟テレビ21
- 掲載状況—— 2008年5月28日から10月17日まで、全15段×11本、ラッピング、別刷り特集8ページを掲載。カラーとモノクロ
- 広告活動—— 日本グラフィックデザイナー協会アートメッセージポスター展、記念トークショーを開催したほか、図録、ポスターカードを作成
- 企画—— 新潟日報社広告事業本部
- 制作—— エイディー・ランド

- 企画の概要と選定理由
- 20数年ぶりに朱鷺が自然放鳥されるのを機に、人と自然が共生する社会の実現と地球環境保護を訴えたシリーズ企画。放鳥に向け、県内外の関係者・著名人からのメッセージを掲載し環境の大切さを広く訴えるとともに、放鳥前日には朱鷺の卵を連想させる美しいビジュアルのラッピング広告を展開し、読者の興味を喚起した。新聞社の総合力を駆使し、人と自然が共生する魅力を国内外に発信するなど、社会性を生かした広告展開で新聞広告の力を改めて示した。

トキと、人間の夢が実現する。

県民による 県民のための 県民共済

平成19年度 県民共済グループでお預かりした掛金の使途

共済金は最優先でお支払いしました

事業費はできるだけ切り詰めました

使わなかったお金は割戻金にあてました

還元率は加入者本位のバロメーター

今年も8月1日にお戻ししました。

新潟県民共済の割戻率実績(平成19年度)

31.45%

祝 朱鷺試験放鳥おめでとうございます。

県民共済グループ

祝 トキ飛翔

朱鷺の舞う位置へどうぞ

Nipponia Nippon Poster Exhibition 2008

朱鷺メッセ31階展望室 9月27日(土)~10月3日(金)

秋山 孝 福田 繁雄 仲川 純子

Fun to Design

2009年新学科・新コース誕生!

祝 朱鷺試験放鳥おめでとうございます。

県民共済グループ

祝 トキ飛翔

朱鷺の舞う位置へどうぞ

# 緑の伝言プロジェクト「緑の伝言2008」

中国新聞社 広告局



記念切手



ウェブサイト

- 広告主——アサヒビール、アンデルセン、近畿日本ツーリスト、三菱地所、三菱電機など15社
- 掲載状況——2008年8月6日付全15段カラー
- 広告活動——ウェブサイトと連動。ポスターを作成したほか、「被爆樹木」見学ツアーを開催
- 企画——中国新聞社広告局、中国博報堂
- 制作——中国博報堂、ペンギングラフィックス
- 扱い——中国博報堂

- 企画の概要と選定理由  
広島市で被爆した樹木の保存活動を通じ、平和の尊さと生命の力強さを訴える広告企画。広島市に原爆が投下された8月6日に、緑色の封筒を被爆樹木の葉に見立てたメッセージ性の高いデザインで、平和を希求する思いを伝えた。ウェブサイトとの連動や市内の学校へのポスター配布のほか、被爆樹木見学ツアーを組み合わせるなど相乗効果を高めた。多くの企業から賛同を得るとともに、広告協賛金の一部を市に寄付して平和活動に寄与するなど社会的責任を果たし、地域貢献につなげた。